新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
印刷人 水越内之介

嚴かな政始の御儀
畏し天機彌々御麗し

【東京國通】御稜威のもと生成發展二千六百年の光輝ある新春、尊き恩威既に普ねく大陸にも及ぼさせ給ふ時、畏くも天皇陛下には四日午前十時から宮中東一の間に於て嚴かなる政始の御儀を行はせられた、阿部首相以下各國務大臣、松平宮相、近衛樞密院議長等フロックコートに威儀を正して參列、粛然として奉拜申上げたが天皇陛下には御軍裝凛々しく大勳位副章を御佩用松平式部長官御前行申上げ湯淺内府、百武侍從長、蓮沼武官長等を隨へさせられて午前十時東一の間に出御、玉座に着かせられた、この時阿部首相は靜々と御前に參進、神宮の事御滯りなく終へさせられたる趣を奏上、次いで松平宮相は宮中御祭祀のことを奏上すれば畏くも陛下には天機彌々御麗はしくわたらせ給ふたが顯官等一同政治の始に先づ祭祀のことを聽召し給ふ今日の御儀の畏くも尊きに恐懼感激申し上げる裡に入御、一同は神ながらの御國風の有難さに感慨一入にて宮中を退下した

輝く元旦の大戰果

大行山脈に據る敵匪 我包圍下に壓伏
初日の銀嶺に感激の萬歲三唱

【太原三日發國通】大行山脈の峻嶮長子西南方地區に執拗なる蠢動を繰返してゐる范漢傑の[illegible]下第四十五、四十六および八師約五千に對し十二月三十一日を期して突如一齊猛擊の火蓋を[illegible]田、平、西田、青砥の各部隊は所在の小敵に逐次奇襲を敢行しつゝ積雪の峻路を進擊明けて[illegible]六百年の初日が屹立する銀嶺に照り映えるや各精鋭は何れも東方を遙拜し感激の萬歲を三唱[illegible]百倍討たずんば止まずの概をもつて更に追擊を續行早くも敵を鐵壁の包圍下に押込めるに至[illegible]部隊は長子西方十四キロの居德村一圓一、四六五高地の敵を粉碎し漸次元日夕刻には平泉に[illegible]日朝には河北村附近の山岳にありし殘敵を掃蕩しつゝ石哲鎭西北五キロの盖義村に進擊中で[illegible]日夕刻長子西方十キロの馬家谷を經て王家谷に進出し二日朝盖義村附近において三百の敵を擊攘の後李家庄に達し、一方元日長子南方十キロの南溝より揚營村附近一帶の敵匪を肅淸した西田、青砥兩部隊の主力は二日午前十一時より冷水口（盖義村南方六キロ）南方の既設堅陣によれる約二百の敵を潰滅した後下揚庄方面に向け猛進中でその一部は仙翁廟附近の敵を擊碎、かくて敵據點は今や南方、西方および正面よりするわが包圍陣に袋の鼠となるに至つた

夏縣の敵を擊滅！

【太原三日發國通】十二月三十一日拂曉わが○○部隊の精鋭は夏縣北々東十一キロの郭牛村及び大洋村附近にありし第百六十九師十、十一團並に第七師二十一團の一部を攻擊これに殲滅的打擊を與へた、敵遺棄死體二百二、鹵獲品重機一、小銃四四、同彈藥六六五、自動拳銃一、迫擊砲彈三、手榴彈一九三

又佐々木部隊は二十九日靈石北方十五キロの大武鎭附近にありし四百の敵を擊攘した、敵の遺棄屍體三十

漢口上流の英砲艦引揚げ

【上海三日發國通】在上海英國大使館二日發表によれば英國政府は曩に揚子江艦隊所屬の艦艇を減少せしめこれを他方面の軍事的要求に振り向けることに方針を決定したが、これに基き今回揚子江漢口上流にある砲艦三隻中二隻を他方面に廻航することとなつた

東亞から世界へ
人類の安定と和平に寄與
汪兆銘氏年頭聲明

【上海一日發國通】新支那中央政權樹立に向つて邁進しつゝある汪兆銘氏は記念すべき一九四〇年を迎へるに方り左の聲明を發表した【寫眞汪兆銘氏】

和平運動に依つて求むるところは、一時的の和平にあらずして

永久的の和平

である、永久的の和平は如何にして得られるであらうか？それには中日兩國が單に二年餘に亘る戰爭現象を、根本的に消滅せしむるのみならず、進んで數十年來の紛糾の原因を根本的に除去せしめねばならぬ、其の爲には中日兩國は過去に於ける猜疑心と嫌厭の情とを徹底的に淸算し、初めから出直して、一つの共同目標に向つて共同して前進する必要がある、所謂共同目標とは何であるか？これについては私が既に「中國と東亞」と題する一文中に述べた通り、一は百年以來東亞を毒したところの植民地主義を廓淸することであり、一は二十年來世界に猖獗を極め殊に東亞に於て其の甚しきを見た共産主義を防遏することである、而して其の目標とするところは或る一國を指すのではなく其の主義を指して言ふのである、元來この二つの主義は思想と組織との比較的脆弱なる民族又は國家に向つて攻め込んで來るのであるから中國の如き弱體國家に於てはその進攻を被る事極めて猛烈である、日本は固より毅然としてよく自ら强うしてゐるが、東亞の一角に此等の勢力が攻め込んで來ることは日本が攻め込まれたも同樣である所謂共同防共は共産主義に對する防遏であり經濟提携は植民地主義に對する廓淸であつて共に中日兩國の共同目標である、それは中國のためであり、日本のためであり、また東亞のためである

中國兩國

に共同目標があれば玆に共存共榮の基礎が出來る、然らば果して如何にして此の共同目標に向つて共同して前進することが出來るであらうか？中國の現在求むるところは國家民族の獨立生存、自由平等にあることは毫も疑ふべき餘地がない、中國の國家民族に獨立生存自由平等を與ふることによつて始めて日本とともに東亞の和平と安定の責任を分擔することができるのであるといふこともまた毫も疑ふ餘地のないところである、しかしながらそれには中國とともに是非とも注意せねばならぬ一個の根本問題がある、それは中國は如何なる場合に於ても東亞の一員であるといふ自覺を持つこと、且つ中國の安定と和平とは東亞の安定と和平の上に之を求めなければならないといふことを忘れてはならぬ點である、中國はどうしても外交上、國防上、日本と同一の方針を採り經濟上日本と平等互惠の原則に基づき、有無相通じ長短相補ふことを實行せねばならぬ、斯くしてこそ、始めて東亞の安定と和平とを求め得べく、中國の安定と和平もまたこれに伴つて得られるのである從つて中國の建國事業と東亞の復興事業とは必ず一致せねばならぬ、若しこれが離ればなれとなるならば中國の建國事業は

到底成功

する見込はなく、若し此の途に相背いて進むならば結局自らを失敗の途に投込むに過ぎない事となるであらう以上は中國側に於て注意すべき點であるが同時に日本側にも注意すべき點がある、それに就て簡單に少しく述べて見たいと思ふ、日本が中國に對し東亞の安定と和平の責任を分擔するならば、中國をして充分に自由にその能力を發揮せしめよくその責任を分擔し得るやうにしてやらなければならない、日本は東亞の先進國であるから、後進國を援助することは、日本の當然負ふべき責任である、しかしながら援助と干渉とには極めて大きな區別がある、援助はその能力の發達を培養するものであるが、干渉は其能力の發達を攪くものである、故に若しただに日本が干渉主義を採れば、自動的に中國を啓發して、和平の責任を日本と一致分擔させることができないばかりでなく、更に中國と日本をして分離せしめ、甚しきに至つては、互に

相背馳せ

しめることになるのであらう、日本が中國に對し東亞の安定と和平の責任を分擔させやうと望むならば、この點に就て細心の注意を拂はねばならぬ中國の建國事業と東亞の復興事業と相一致し日本は中國を援助して中國をして共建國事業を完成せしめて中國をして東亞復興の責任を分擔せしむる樣にするならばそこで始めて中日兩國は共同目標に向つて共同して前進することが出來るのである、共産主義が如何に猖獗を極めようとも斯くの如き絶對的功利思想は東方の道德精神と終に格格として相容れないものである、中國が三民主義に基いて中華民國の建設を完成するならば民生主義の實現と共に共産主義は中國から完全に其の姿を消すであらう、何となれば共産主義は階級闘爭を主旨としてゐるのに民生主義は社會の合作を主旨として居り根本的に同じくないし、また共産主義は絶對に私有財産の排斥を目的としてゐるのに民生主義は實業計畫に基づき國家資本を發展し法人資本を保護するを目的として居り方法論的にも同じくないから中國にして若し充分に時間が與へられて民生主義を實行するならば共産主義は必ず跡を絶つべきものであるから である、次に

植民主義

に至つては中國に侵入すること既に百年に及び、其の根帶の深くして且つ固きこと固より一朝一夕に之を廓淸し得べしとも思はれぬ、然し乍ら最近數十年來殊に二十年この方中國の民族資本はすでに萠芽しかけてゐるからたとひ尙は甚だ幼稚であらうとも之を培養するならば必ずや中國經濟社會の基幹となるであらう、日本が若し此の中國の民族資本と相互に提携し先進國の資格を以て隨時援助を與ふるならばこれによつて植民地主義的勢力を廓淸することも亦決して不可能な事ではないのである、三民主義中の民族主義と民生主義はすべてこの點に着眼してゐるのである、ここに附け加へて置きたいことは所謂植民地主義的勢力の廓淸は決して第三國の正當權益を排斥する意味を含んでゐるものではないといふことである、中國の實業計畫の完成には外國資本及び技術に待つところあるは極めて明瞭なことであつてこれと中日經濟提携とは決して矛盾するものでない、何となれば中日經濟提携の結果は中日間に衝突を起すことが無くなり其の

第三國の

關係に於て資本と技術を歡迎するならば自ら矛盾はなくなり寧ろ第三國の正當なる權益は必然これによつて合理的の保障と發達が得られるからである、東亞の安定と和平は世界の安定と和平との一部分である東亞の安定と和平から進んで世界の安定と和平に寄與せんとすることは恐らく世界人類の渴望して已まぬところであらう

廿九年元旦　汪兆銘

ソ聯の誠意に好感
國境紛爭處理 滿洲國意向表明

三日日本政府より發表された滿ソ滿蒙間の紛爭防止および紛爭處理委員會の設定に關し滿洲國政府は右の措置を歡迎し更に今後の日ソ兩國政府の交渉に期待をかけてゐるが四日外務局スポークスマンは次の如く滿洲國側の意向を表明した

滿洲國としては別段日本側の發表内容を補足する考へはない、具體的な内容は未だ發表する時期に至つてゐないが本提案にソ聯側が相當の熱意を見せて來たことは何れにしても喜ぶべきことで殘餘の紛爭問題の解決促進の機運を釀成する一要素とならう

紀元二千六百年迎へ彌榮ます宮城

三寒四温

組織か人か？といふこと、或は制度か人かといふことはよく論ぜられるところであり、さうして結局は、制度ではなくて人だといふ說が正しいとされる▼もちろんこれはりくつとしては決して間違つてゐないが、しかし、「人」さへよければ制度や組織はどうでもよいといふことではないので、よき制度、合理的な組織を動かすに、よき人をもつてしなければならんといふ平凡な眞理を忘れてはならない▼今の世の中では組織を離れ、制度を外づれた人などは、をかに上つたかつぱほどにも、社會的、國家的つまり人世的なはたらきをすることが出來ないのだ▼ところが制度や組織さへうまくできてをれば、それを動かしてゆく人間は、どんなデクの坊でもよいか、といふと、そんな亂暴な話はてんで問題にならんのだ▼だいたい、組織とか、制度とかいふものは、決して抽象的な、機械的なものではないので、生きた人間、すなはち、感情もあり、傳統もあり、知識や意思の程度や傾向も、時代により、國によつて、さまざまに異る人間社會の組織であり、それを運營し發展させるための制度なのだ▼だからよい組織とか、立派な制度とかいふのは、それぞれの時と處とくに人間とに特有のものであつて、ドイツの國民組織がよいからといつて、それを日本にあてはめるわけにはいかぬし、ヒットラアユーゲントがうまくいつてゐるからといつて、滿洲でその飜譯的模倣をやるなどとはもつての外だ▼だから「協和會」は滿洲獨特のものだ、ナチスやファシストなどとは、たとひ類似點があるにしても、それは斷じて、ものまねではない▼よしかりに或る制度が、非常によくて、かつ普遍的な價値があるとしても、それを運用指導する人間の要素が伴はなければ、その制度だけをつくつてみても、全く物の用にならぬのみでない却つていろいろな弊害を生ずるのだ▼古いたとへだが、子供に「正宗」といふことは、社會組織や、國家の制度にもあてはまることである▼さてかう考へてくると、われわれはいまどうであるか？▼協和會運動と會運動の指導的役割をすべき會務職員、特殊會社制度とその運營者、統制經濟とそれの指導をなすべき行政官、合作社運動とその主要役員、かういふものを考へ合せるときに、行政機構や、協和會組織や、特殊會社制度や、合作社運動は、いづれも、この國の理想實現のために、きはめて適切なよい組織であり、制度であるけれども、それがほんたうに、その効用を發揮するためには、どうしても、これらの組織を指導し、運營する「人」の問題について、もつともつと眞劍に考へかつ努力しなければならぬ▼それには十年廿年の將來を考へての學校教育はもちろん基本的な重要なことに違ひないが、さしあたり、現に仕事をやつてゐるお互ひ社會人、國家人の再教育が必要ではないか▼この年來滿洲國では再訓練といふことに重點を置いて、大同學院などで、官廳、會社、協和會職員等の中堅青年の短期訓練をやつてゐることは、まことにけつこうと思ふが、これはもつともつと範圍を擴め、規模を大きくする必要があるだらう▼たとへば新聞通信記者なども、何等かの方法で再教育、再訓練をすることが極めて望ましい▼さらに廣く云へば、かゝる特殊の制度によるだけでなく、各職場において、それぞれの首腦者達が、皆指導者としてまた人生の先達として、その日常の業務を通じて、つねに部下職員の教育、指導に當るといふことにしなければならないのだ▼またそれは單に上下の關係だけでなくわれわれはお互に相互教育をしなければならんのだ、部下を教育し指導する實力、德力と能力をもたぬ者はどんな組織、職場においても、人の上に立つ資格はないといはねばならぬ。また相互教育の熱意なき者は永久にのびることの出來ない下草でなければならない。

對日禁輸問題 解決企圖
米議會態度

【ワシントン一日發國通】ブルーム下院外交委員長は一日新聞記者團との會見で「ハル國務長官は日米間に現存する意見の對立を問題化せしめることのないやう滿足なる解決點を見出すであらう」と前提し日米問題に關する米國議會の態度につき大要左の如く語つた

余は對日問題の嚴正なる解決を圖るためにはすべからく國務省に對しあらゆる機會を利用せしむべきであると信ずる、從つて對日禁輸問題に關して議會が何等かの決定的措置に出るやうなことは多分にない

明年度特別豫算 あす閣議に附議

【東京國通】遞信、鐵道、外務その他の明年度各特別豫算は四日の新春閣議に於て青木藏相より概數の說明あり六日の臨時閣議に正式附議決定することとならう

本日朝刊四頁

漢江、南潯鐵路に 元旦の行動開始
新春の戰野殘敵猛攻

【南昌二日發國通】冬季攻勢に全面的潰滅を喫した江西の敵は漢江沿岸および南潯鐵道沿線に出沒ゲリラ戰術に轉じきたつたのでわが軍は元旦を期してこれに一齊掃蕩の火蓋を切つた、即ち上田、辻、岩崎、田中、益田の各部隊は一日午前九時南昌、奉新中間に蟠ゆる西山山嶺に蠢動する百八師および豫備第九師にたいし南側より進擊した、知覽、久保、加藤、橋本、石本、野村の各精銳は東側山麓より制壓して包圍陣を壓縮しつゝある、更に古賀、根澤杉本各部隊は卅一日深更行動を起して漢江を下航椎舍（南昌北方卅キロ）附近の敵を一日朝來擊破、一方南潯鐵道沿線に策動する豫備第五師に對し門脇、鷹森、三池の新銳部隊は一日一齊に攻擊を加へつゝあり、かくて新春の喜びを戰野に迎へた各部隊將兵の士氣は將に天を衝き隨所に敵を擊滅中である

陸鷲の活躍 元旦爆擊

【漢口二日發國通】是枝部隊長の率ゆる荒鷲は元旦快晴の空を大別山に飛び京漢線東方夏店北方山中に於て約一千五百の敵部隊の移動中を發見痛烈なる爆擊を加へて多大の損害を與へた

ビルマ國防長官 重慶に到着

【ニューヨーク卅一日發國通】ニューヨーク・タイムス重慶來電に依れば英領ビルマ國防長官シーモア氏はビルマ支那間の通信問題協議のため卅日重慶に飛行機で到着した

上海駐在米 總領事歸任

【上海二日發國通】去る十一月中旬米國アジア艦隊旗艦オーガスタ號でマニラへ赴きアジア艦隊司令長官ハート提督及びセイヤー比島高等辯務官と約一ヶ月に亘り重要會談を行つた駐上海總領事クラレンス・ゴース氏は一日午後四時上海入港の米國汽船プレシデント・ピアス號で夫人令息と共に歸任したが、マニラ會談の內容等に關しては一切語るを避けてゐた

駐獨 土洪 大公使會議 近く開催の豫定

【ベルリン三日發國通】舊臘着任した新任駐獨大使來栖三郎氏は三日ベルリン發ブダペストに向つた、來栖大使はブダペストに數日間滯在武富駐トルコ大使、井上駐ハンガリー公使と共に大公使會議を開催する豫定で歐洲情勢につきそれ〴〵の報告を行ひバルカン近東問題につき意見を交換今後の歐洲問題對策等につき重要協議を遂げるものと見られる

江南、江北にも 掃蕩の火蓋切る

【漢口三日發國通】わが皇軍漢口部隊は大別、萬洋兩山系の峻嶺より吹き颪す氷風に妨げられつゝも二日輝く皇紀二千六百年を壽ぐ暇もなく江北、江南兩戰線に蠢動する敵部隊に猛攻を浴せ、冬期攻勢の殘存敵匪の徹底的掃蕩を續行、涙ぐましい奮戰を續けそれぞれ大戰果を收めた

△江南戰線

一、わが〇〇部隊は卅日大沙坪（通城北方廿キロ）附近に潛入われに抵抗せんとする三、十五、七十七百十四の各師に屬する約六千の敵大兵團に向け果敢なる攻擊を加へこれを南方に潰走せしめた

二、西村、坂本、川名の各部隊は卅日奉新西方七キロ附近峻嶺に據つて蠢動中の百卅九、五十一兩師に屬する敵約一千に猛擊を加へ潰滅せしめた

三、わが飯田、鹽見、中村の各部隊精銳は卅日高安西方十五キロ高郵市北方山岳地區に侵入せる敵約六百を各部隊緊密なる連繫の下に包圍、これに猛攻を加へた結果敵は遺棄死體約百數十を殘し四散した

四、わが部隊は卅一日安義東北方六キロ下朱田に於て約四百の殘匪を發見、これに銃砲擊を浴びせ潰滅せしめた

五、わが〇〇部隊は一月一日四十一師に屬する約五百の敵集團が箬溪南方廿キロ附近に於て蠢動中を急襲敵は遺棄死體多數を殘して西南方に潰走した

△江北戰線

わが今淵部隊の門利少尉の率ゆる〇〇名の將校斥候は元旦早曉黃陂北方五十キロ家口鎭附近に於て敵正規軍數十名と遭遇、壯烈なる白兵戰を展開したが同少尉以下わが兵これを蹴散四散せしめ捕虜數名重輕機その他多數の兵器を鹵獲した

カナダ遠征軍
英西海岸某港に上陸

【ロンドン卅一日發國通】今次戰爭勃發後第二回目のカナダ現役兵遠征部隊は多數の英佛軍艦に護送され無事一日英國西海岸の某港に上陸した

米海軍、沿岸に 機雷敷設

【ワシントン一日發國通】確聞するところによれば米國海軍省は現下の國際情勢に鑑み今回大西洋ならびに太平洋兩岸各地の港灣およびパナマ運河防備のため敷設機雷の利用を計畫してゐる模樣である

怒濤を蹴つて
無敵海軍の威力

東亞經濟の確立 我滿洲國の使命
滿洲興業銀行總裁 富田勇太郎

[illegible]後、茲に聖戰下第三年、輝かしき皇紀二千六百年の新春を迎へ、恭しく日滿兩皇室の彌榮を慶賀し奉り、兩國國運の益す隆昌なるを祝福すると共に內外時局極めて重大なるに省み

一層の
緊張自奮を感ずる次第である、顧るに昨秋歐洲戰亂勃發し、歐洲の天地は一大暗雲に閉されつゝある時、我が東亞に於ては日滿兩國は一德一心の結合益す固く、更に新生中國には近く中央政權の成立を見んとし、日滿支相携へて興亞の聖業達成に意義深き巨步を進めんとすることは御同慶の至りである、今次歐洲戰亂の現下の動勢は稍稍緩慢の如き觀あるも、之は各交戰國が極力國力の消耗を避けて、最後の勝利を得んとするものであつて、近代戰の特徵たる經濟戰を以て最後を決せんとする意圖に出づるものと認めるのである、之が爲め今次戰亂は相當長期に亘るものと見ねばならず、從つて其の勝敗が何れに歸するやは遽に豫斷を許さぬが、然し其の結果の如何に拘らず、國際關係に大なる變革を齎すべきことは明かであつて、此の變轉端倪すべからざる國際情勢に處して興亞の大業を完成せんとする吾等の責務亦甚だ重大なりと云はねばならぬ

我が滿洲國は建國既に八年、國勢は隆々として、外には貿易の伸張等輝かしき發展を遂げ來つたのであるが、貿易の增進は勿論國內產業の開發も國際關係の動向に左右さるゝこと大なることは言を俟たぬ、現に今次歐洲戰亂の勃發に伴ふ對獨貿易の中絕によりわが特產部の

輸出は
勿論、國內建設資材の輸入に相當暗影を與へつゝある如き實情を目前に觀るのである、勿論斯くの如きは非常時下何れの國家においても避け難いところであるが、現在わが國は盟邦日本と結んで東亞の新秩序建設に邁進すべき重大時局に直面してをり、國際關係の變轉に因り、この大使命達成に些かも齟齬を來す如き事があつてはならぬのである

わが滿洲國は所謂「持てる國」である、各種の絕大なる天然資源は吾等の開發を待つてをり、又廣大なる耕地は各種の農產物を吾等に供給する一方產業開發に必要なる外貨の獲得に役立たしめてゐるのである、吾等はこの豐富なる資源を開發し、現下における戰時物資の生產力擴充に遺憾なからしむることは勿論であるが、世界情勢の推移に照し吾等の天然資源をして進んで東亞の自給自足經濟の確立に備へしめねばならぬ、これこそわが滿洲國に課せられたる最も重大なる使命であり、又興亞百年の大業を完成する所以である

我が國は曩に產業開發五ヶ年計畫を樹立し、本年は既にその第四年に入り着々所期の成果を擧げつゝあるが、產業の開發の如きは勿論斯かる短時日を以て完うし得るものにあらず、大局上より觀れば漸く基礎的建設の步を踏み出したる程度に過ぎない、之が開發は國家の悠久と共に遠大なる生命を有するものであり、わが滿洲國に於てこそ之を可能とするものと信ずる

吾等は
茲に思ひを致し、朝野一致して其の大使命貫徹に努力せねばならぬと考ふるものである

繼つて國內の現狀を見るに時局下多大の障碍あるにも拘らず、產業の開發は着々として進捗し一般經濟、金融界も亦著しき發達を示しつゝあるが、一方には年々累增する巨額なる產業開發資金の撒布等に因り、一部には不當なる購買力の膨脹を見さなきだに老大なる戰時物資の消耗を見つゝある時局下に物資不足と物價騰貴の傾向を生じつゝあるが、斯くの如き情勢を進むるに於ては國家財政の運用は困難となり、國民生活の不安は益す激化するのみならず、產業開發の前途にも暗影を投ずることゝなるのである、物價騰貴の趨勢は昨年中特に甚だしく、之は一部物資の不足にも基因するものであるが、其の最大なる原因は國民の不必要の購買力增大の結果と見ざるを得ない、政府に於ては凡ゆる機關より極力之が抑制策を講じつゝあるが、如何なる方策も結局國民の徹底せる自覺に依り、其の一致協力を得されば目的を達し得ぬのであつて、茲に國民の一段の緊張を要するのである

然らば吾等は如何にして此の時相に處すべきか、之は畢竟國民一致の物資節約と、國民貯蓄の實踐とを最も急務とするものと考へる此の問題は既に充分說き盡された所であり、茲に多くの說明を要しないのであるが、日滿を通ずる戰時物資の供給力の確保を圖らんには國民の物資節約は勿論であり、又其の

生產力
の擴充を圖らんには之が資金の蓄積、即ち國民貯蓄の增大に依らねばならぬことと亦言を俟たない、而も物價騰貴の抑制、一般經濟の安定等總て之に歸すると稱して過言ではないのである、今や大陸各地には忠勇無比なる將兵が一死報國を誓つて戰ひつゝある時銃後國民に於ても戮力協心此の國策遂行に奉公の誠を致さねばならぬと感じ、又斯くてこそ能く時艱を克服し、洋々たる興亞の大業を完成し得るものと信ずるのである、年頭に當り國內外の情勢と國民の覺悟に付御所感を述べた次第である

皇紀二千六百年迎へて
關東州廳長官 三浦直彦

茲に皇紀二千六百年の新春を迎へ、謹みて肇國以來の天業恢弘の皇謨を仰ぎ奉り、戴て悠久天地と共に窮りなき祖國の生命を顧み國運躍進の前途愈よ多幸多望なるを思ふ時に、まことに大稜威の下に生を享けたる日本國民たるの限りなき光榮と矜持と感激とを禁じ能はざるものがある、今や世界は再び動亂の嵐に包まれ日本は將に聖戰四年新東亞建設の爲に有史以來未だ曾て經驗したることなき重大時局に直面してゐる

□　□

茅出度くも輝かしき皇紀の年として國を擧げて之を祝福し記念すると共に此の難局は當代國民に課せられたる一大責任として刻苦精勵、欣然として之を克服すべきを誓ふものである、吾等は再び茲に建國悠遠の昔に立還り一君萬民、君民一體以て天壤無窮の皇運を扶翼すべき我が國體の本義に徹してその覺悟を新たにして、其の氣魄を鞏固にして、更に大行進を强行しなければならぬ、聖戰の目的とする東亞新秩序建設の意義は、日滿支三國の融合合作に基く各民族の共存共榮を理想とすることに於て、八紘一宇の我が肇國の大精神に發するものであり、日本の世界經綸の東亞における顯現に外ならない、即ち現に事變處理を樞軸として此の崇高雄大なる使命と理想を實現せんがために、前線の勇士、銃後の國民は渾然一體となつて挺身奮鬪以て盡忠報國の誠を致し偏へに相及ばざらんことを恐るゝものである

□　□

それは吾等の祖先が未だ曾て經驗したることなきほどの嶮山難路であるには相違ないが吾等に續くべき子孫後代のための光榮ある試煉として又金甌無缺の祖國に奉ずべき光輝ある使命として勇躍して之を甘受し日本國民たるの雄渾なる精神力と强靱なる氣魄を以て敢然として之を克服打開するの覺悟に燃ゆるものである、世界の驚異とする盟邦滿洲國の飛躍的發展は、專ら一德一心の道義的國策に依存する我が關東州の對滿關係をして益す不可分緊密ならしめ、加ふるに今次支那事變の推進は關東州をして更に新たなる局面を展開するに至らしめ、即ち產業貿易の上に於て交通運輸の上に於て、日滿支三國の要衝たり中心たり紐帶たることに依て、新東亞建設の輝かしき前途を想望する時に、關東州の保有すべき使命と約束せらるべき地位とは、自ら明瞭にして且つ極めて重大である、今後州行政上に於ける百般の政策は偏へに此の新事態に即應して實施遂行せらるべきは謂ふまでもない

□　□

即ち本年は時局推進の必然的結果として行政の各分野に於ける統制が一層强化せられ物心兩方面の總動員は更に一段の拍車を加へ來ることを覺悟せなければならぬ、州民各位にありては來るべき新興東亞の舞臺に於ける關東州の使命と重要地位とを正確に認識把握して、堅忍持久刻苦精勵以て全幅の協力と支援を之に與へ只管聖戰目的の完遂に邁進せられんことを希望して已まない

覺悟を新にし 我社業に邁進
滿鐵總裁 大村卓一

皇紀正に二千有六百年、聖戰下に新年を迎ふること茲に三度、皇威昭昭として中外に輝き皇軍の征く處頑敵を掃討し全支に

×××××（輝かしき）
戰果を擧げ興亞の大業は著々巨步を進め東亞の天地漸く黎明の曙光を見むとす、是れ偏に御稜威の然らしむる處なりと雖擧國一致官民協力克く時艱に對處し來りたる賜にして寔に慶祝に堪へず、顧るに事變下の滿洲國は東亞新秩序建設の重大なる一翼として政治、經濟、產業の躍進を見つつあり其の大動脈たる交通を中心とし鑛工、調查其の他を擔當する我社亦新情勢に即應して飛躍的發展を遂げ來れり、即ち交通部門に於ては滿洲國鐵道網の完成を急ぎ銳意新線の建設を進めたる結果昨年十月を以て會社運營鐵道は一萬粁を突破し大陸交通史に榮ある記錄を樹立せるの外國營自動車路線一萬六千粁、水路五千粁の運營を爲すに至れり

鑛工部門に於ては撫順其の他の炭礦より年產一千萬噸の出炭を續くると共に燃料問題解決に資する爲頁岩油の大增產計畫を樹て又多年研究中なりし滿鐵の石炭液化は昨年七月遂に工業試驗に成功し良質の液化油を產出するに至り撫順製鐵工場に於ては其の獨特の製法たる特殊鋼製造に依り夫々我國策に重大なる寄與を爲さんとしつゝあり、又調查部門に於ては昨年春大調查機構を確立し東亞全般に亘る綜合調查を行ひ以て東亞新秩序建設に適切なる貢獻を爲さんことを期せり

×××××（本年度）
に於ては滿洲國の飛躍發展と現下時局に對する國防上の要請に對へ我社は更に一段の躍進を爲さんことを期す、先づ鐵道に於ては第二次一萬粁へのスタートとしての新線建設驚異的激增を累ぬる客貨輸送の完璧を期する爲車輛其の他諸施設の增備擴充を行ふと共に港灣に於ては大連港の擴張並荷役設備の增强營口、羅津、壺蘆島等の諸港の擴張並荷役設備の增强を實施すべく水運に於ける船舶の新造、自動車に於ける路線の擴張、車輛其の他諸施設の增備等と相俟ちて交通部門の全面的强化を圖らんとす、又炭礦に於ては露天掘及坑內掘施設の整備擴充、製油工場の擴大並新設石炭液化工場施設の完備に努め燃料國策に一層の貢獻を爲すべく更に調查部門に於ては昨年度樹立せられたる大機構の內容を一層充實し支那事變關係、東亞交通關係、日滿支物資動員並生產力擴充等重要諸問題の全般に亘り調查研究を進め東亞興隆の

×××××（國策遂行）
に寄與する所あらんとす

而して以上交通、鑛工、調查を三大根幹部門とする我社の使命達成に必要なる增資に就ては既に臘月議の決定を見、本年度に於て資本金八億圓を一躍十四億圓に增加して滿鐵將來の伸展に要する資金を確保することとなり我社の社礎愈固きを加ふるに至れり加之右增資方針の決定を契機として朝野は大陸に於ける我社の認識を新にし又滿洲國政府との關係は其の本參加其の他に依り益緊密化せらるることとなりたり

今や歐洲の戰亂は擴大して其の波及する所全世界を震駭し國際情勢混沌として何時如何なる事態を惹起するやも測り難く興亞の大業亦前途多事なるを豫測せしむるものあり、此の非常の轉換期に當り皇紀二千六百年を迎ふるは國民として寔に意義深き所にして我等は神武創業の上を想起し八紘一宇の建國の理想に從ひ三千年來培養鍛錬し來りたる剛健なる精神を以て民族の興隆と東亞新秩序建設に一路邁進すべきを痛感す、茲に此の記念すべき新春を迎ふるに方り大陸の

×××××（第一線に）
立ちて東亞興隆の聖業を翼贊し奉る滿鐵の責務愈重大なるを想ひ更に覺悟を新にして社業に精進せんことを誓ふ所以なり些か所感を述べて年頭の辭とす

獨吟
首警　井ノ口甲山

日落看歸鳥。蒼然暮色深。柴門無客到。山寺送鐘音。

寓意

厲依寓舍避世喧。盡日蓬門無客敲。鏡裏忽驚鬢毛白。老來誰結忘年交。

除夜

東飄西轉卄餘年。點々霜華到鬢邊。陋屋三間聊樹眼。笑他無事不成眠。

曉發

驅馬山村路。北風歛笠看。竹扉殘月下。微雨曙光寒。

元朝有懷

東天紅處拜曦光。大人洲中瑞氣長。聖謨無疆治唐土。萬邦齊仰國威揚。

山村迎年

鶯聲緩屋歲時同。萬戶豐年白雲中。田畝兆民無曆日。無邊恩澤似春風。

元日

矚雲爛令眾邊陲。萬戶翩翻揭國旗。恰遇佳辰春酒熟。謹擎祝盞仰皇基。

元日

鷄鳴開曙色。梅蕾折庭隅。門外旭旗燦。新晴瑞光敷。

賞庭梅（舊作）

酌酒倚欄干。閑看庭上梅。黃昏斜桂月。詩興一時催。

又

水環墻角俗情疎。一樹梅開隱士居。童子今朝遨來報。數聲黃鳥夜明初。

又

自栽梅樹俗情忍。今歲一枝花出墻。日暮嫩寒天又雪。暗香浮動趣殊長。

白山公園雪景

宿雪初晴滿目鮮。白山苑裏玉鋪氈。樓頭喜見三多景。瓊樹瑤花別闢天。

歲末述懷

從土二里一。渺々路三千。客裡幸無恙。流光又一年。

寄詩友

異鄉故人少。四顧淚沾衣。舉首憶君處。寒空孤鳥飛。

歲暮述懷

未遂平生志。奔馳南北邊。權花夢一瞬。已過五十年。

客舍不寐

宿心難遂涕淒淒。一夢醒來聽曉雞。流泪多年久爲客。奔馳南北復東西。